

7. 基本となる取組

■ 施策の具体化のための基本的な考え方

高取農業の 魅力化・ブランド化

【現況】

- ・ 高取町の農ブランドの知名度が低い
- ・ 周遊ルートができていても地区内に拠点が無い。来訪者が増えることでお金が落ちる仕組みが必要
- ・ 新規就農者のモチベーションを高め、活躍できる場の創出

【施策の具体化に向けた方針】

与楽古墳群と併せて高取町の「農」の魅力アピールする場、農業従事者の活躍の場となる新たな拠点形成にむけた検討を進めます。

～拠点のイメージ～

与楽古墳群地区の来訪者が休憩したり、高取の「農」にふれあう拠点の創出に向けた検討を行います。



出典：高取町観光ガイドHP

例1) 農産物の直売所

町内には土佐街道に「わくわく市場」がありますが、与楽古墳群周辺地区にも直売所を設けることが考えられます。



例2) 農家レストラン

高取でとれた野菜を使った料理を提供する飲食施設の設置も考えられます。地元の主婦の起業・就労の場としての展開も想定されます。



例3) 足湯

高取町周辺では温泉施設は少ないですが、ハイキング利用者の需要は高いと想定されます。「葉のまち」のPRをかね、当帰の薬草湯の足湯が考えられます。

施策の取組イメージ

新規就農者の支援

高付加価値の農作物の販売や、規格外農作物の有効活用による、収入の安定



新規就農者、地域等のネットワークの構築

例) 「人・農地プラン」の作成による話し合いを通じた問題解決の方向性を検討

例) 農地中間管理機構の活用等による農地集約や新規就農者への良好な農地の提供

例) 空家・農地の情報提供、農機具の提供等の新規就農者を支援する地域の体制構築や気運の醸成



関係者をあげた新規就農者の支援体制

農のブランド戦略の展開

特産品の開発

- ・ 県内11市町村が関わる「奈良の葉」をテーマに日本遺産登録にむけた取組が推進中
- ・ 「漢方推進プロジェクト」による大和当帰を使った特産品の開発



グリーンツーリズムメニューの開発

現在、毎年夏に開催される「どろんこ祭」



出典：奈良県HP

7. 基本となる取組

■ 施策の具体化のための基本的な考え方

古墳を通じた まち・地域の魅力化

【現況】

- ・ 与楽古墳群の知名度が不足
- ・ 高取町の来訪者は、明日香村・橿原市も周遊

【施策の具体化に向けた方針】

観光地として知名度の高い橿原市や明日香村と連携した広域連携の中で、与楽古墳の活用を進めます。

～具体的な取組イメージ（先行事例等）～

●飛鳥広域行政事務組合

橿原市、高取町、明日香村の3市町村を一つの圏域として様々な事業や連携した取組を実施しています。具体的には、広域文化の育成・発信や、地域交流の推進として3市町村が連携した観光資源の情報発信や観光資源の活用を進めています。

●日本遺産「日本国創成のとき — 飛鳥を翔（かけ）た女性たち —」のストーリー

橿原市、高取町、明日香村が文化庁に申請し、平成27年4月24日に「日本遺産」に認定されました。3市町村が関係団体と連携のもと、日本遺産に認定されたストーリーとそれに登場する文化財等を中心に情報発信、普及啓発等の事業に順次取り組み、郷土に対する誇りと愛着を醸成するとともに、観光や地域の魅力を高め、国際的に飛鳥の知名度の向上を図っています。

●明日香村のまちづくり

明日香村も高取町と同様に奈良県とまちづくり包括協定を締結し、「飛鳥駅周辺地区」として、与楽古墳群周辺地区東側に続くエリアが対象となっています。



施策の取組イメージ

与楽古墳群のプロモーション

与楽古墳群の主な特徴

渡来人の最先端の流行を反映した3古墳
(時代・埋葬形式の変化を実感できる)



与楽カンジョ古墳
石室高さ5.3mで
横穴式石室で奈良県一
(7世紀前半)



与楽罐子塚古墳
半径28mの円墳
石室高さ5.0m
(6世紀後半)



寺崎白壁塚古墳
方台形で一辺30m
の横穴式石室
終末期の家族墓への
移行を示す
(7世紀中頃)

遺跡マップ

高い古墳密度を誇る与楽古墳群
(狭いエリアに約100基の古墳あり)



市尾墓山燈火会での古墳ライトアップ

(高取町市尾大字自治会)

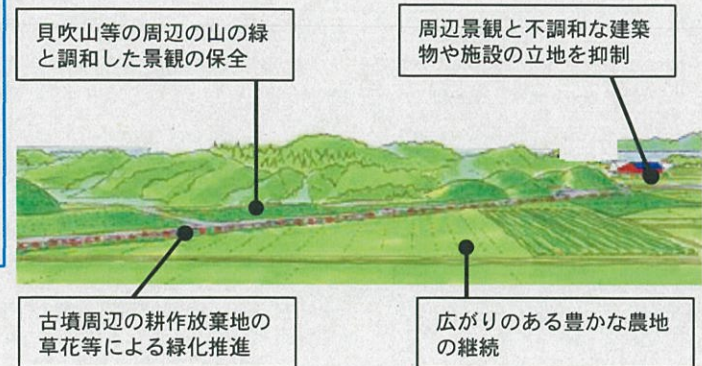


- 石舞台古墳の高さを越える玄室が築かれた与楽カンジョ古墳
- 田園の中に尖った墳丘が印象的な古墳時代終末期の与楽罐子塚古墳
- 風水思想を反映した立地にそびえる寺崎白壁塚古墳

パワースポット、ここでしか見られない古墳であること等、古墳のプロモーション方法を工夫

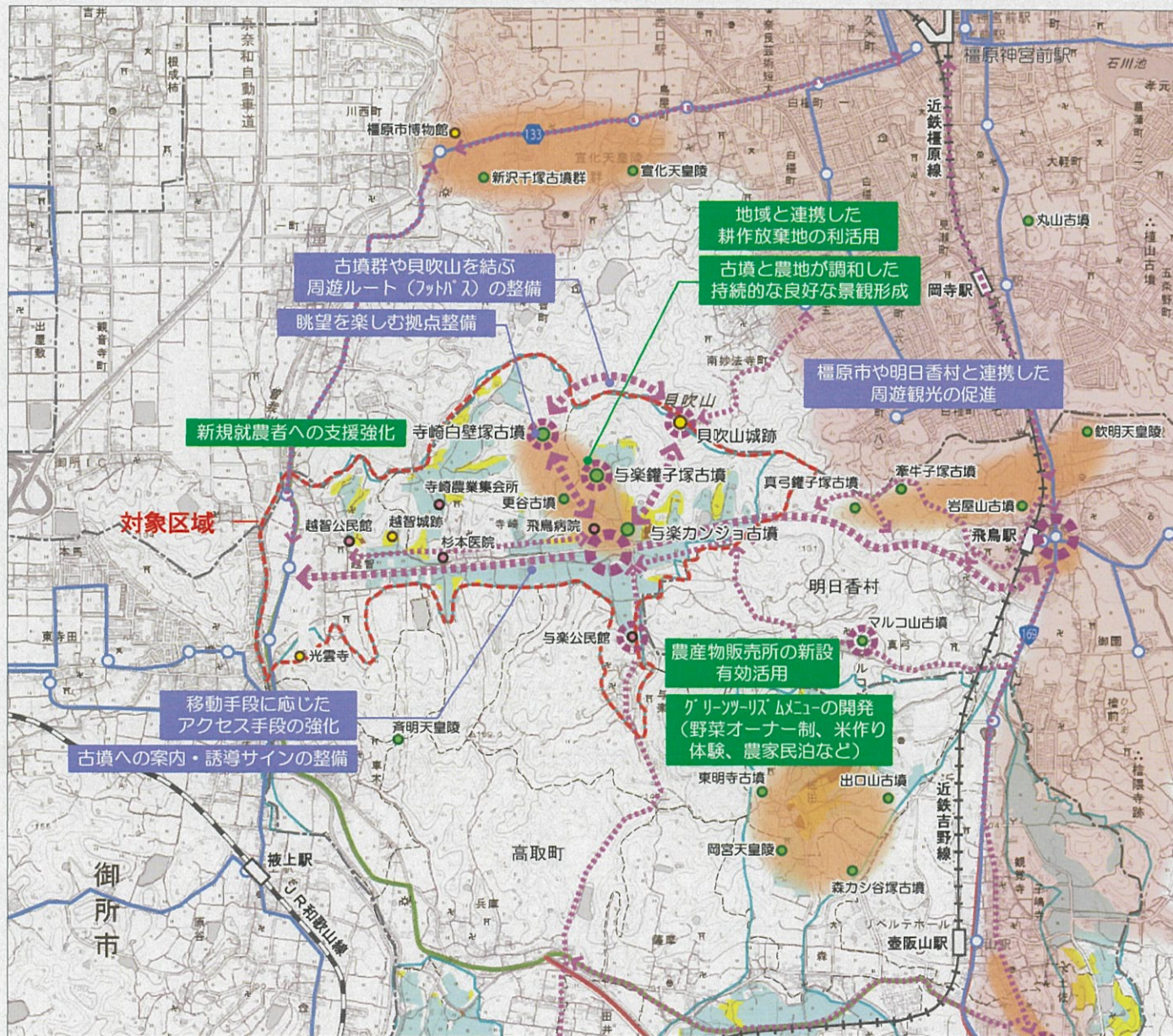
周辺の農地を含めた良好な景観、空間の創出

高取の原風景を次世代に残す



8. 基本構想図

■ まちづくり構想図(案)



(国土地理院の電子地形図(標準地図)を加工)

凡例

- 対象区域
- ↔ 経路
- バス路線
- 農業振興地域
- 田
- 畑
- 樹園地
- 古墳
- その他観光資源
- 公共施設等
- MICHIMO 走行可能エリア
- 地域資源集積エリア

 : 高取農業の魅力化
 : 地域の魅力化

【高取農業の魅力化全般】

- 営農組合や農業従事者の経営安定に向けた支援強化
- 地産地消を推進するための町内への啓発や流通ルートの開拓
- 特産品の開発
- 高取町の農業のPR

【地域の魅力化全般】

- 古墳の周知、HPやパンフレット等による情報提供
- 古墳を案内するツアーやガイド等のしくみづくり
- 地域の維持管理・運営体制の構築

8. 基本構想図

■ 将来イメージ(案)

<コンセプト>

歴史と「農」のふれあう癒しのまちづくり

